

【登別】今春開校した中高一貫校、登別明日中等教育学校（大山節夫校長、百六十一人）の演劇部が、一、二日に開かれた第二回道中学生演劇発表札幌大会（実行委主催）で優秀賞に輝いた。高校に当たる後期課程も高文連全道発表大会で優秀賞を獲得しており、「来年は一緒に最優秀をとりたい」と張り切っている。

（上野香織）

# 初舞台 全道で優秀賞

## 1年生のみ 演技力に高い評価

同校演劇部は中学に当たる前期課程の十二人が参加し、最優秀賞に次ぐ優秀賞二校の一つに選ばれた。札幌大会には道内各地区の代表六校が出場したが、西胆振ではほかに参加希望校はなく、同校にとって初舞台が全道のひのき舞台となった。

部員は全員演劇経験が

なかったため、五月から

後期課程の生徒と一緒に演劇のビデオを見て感性を養った。

演じたのは新海貴子作のコメディ「現代仕置き人」消えてもらいます」。過度な期待を寄せる母親に反抗し、母親に過ちを気付かせるという筋書き。九月から本格的に練習を始め、せりふの言い回しを変えらるなどし

て挑んだ。当日は緊張していたが、部員同士で「舞台を楽しもう」と声を掛け合ったという。

講師では「中学一年生と思えない演技力」などと評価された。副部長の水無瀬弘奈さん（三は

「練習よりの生き生きと演技できた」と笑顔。顧問の影山吉則教諭は「同じ感動を味わわせたいと、後期課程の生徒たちが指導してくれたおかげ。中高一貫校の良さが生かされた」と喜んでいる。



全道大会で獲得した優秀賞を喜ぶ演劇部の生徒たち